

1 調査状況

1-1 想定すべり面

【想定すべり面 縦断図】

※ 地すべり面の有無及び位置は、現在の地盤変動より推定しており、今後調査により想定

凡例

- 地質の変化点
- ▷ 変動が認められる
▶ (孔内傾斜計(手動))
- ▶ (孔内傾斜計(自動))

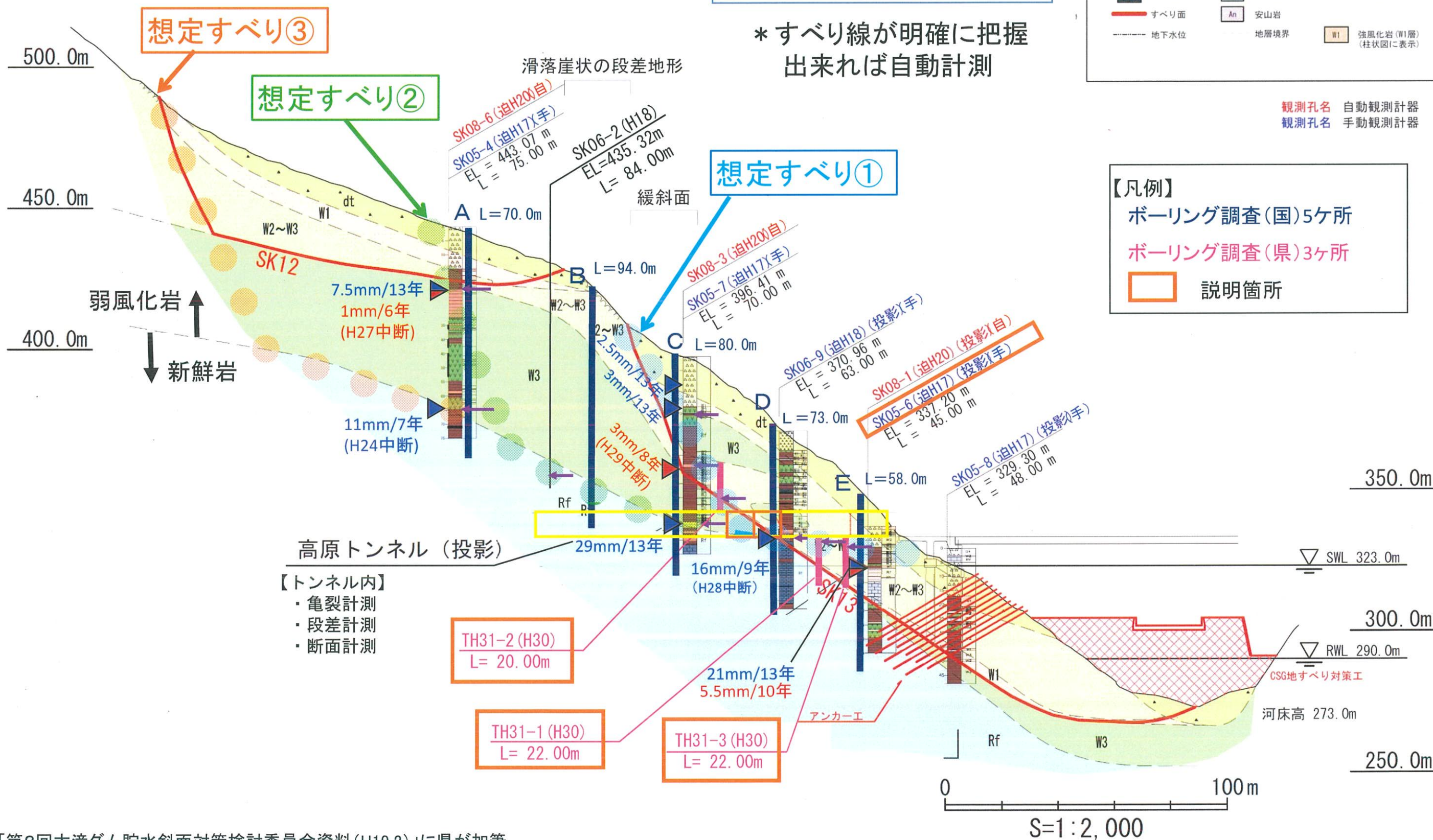
* すべり線が明確に把握出来れば自動計測

岩種区分		地層区分		風化区分	
	崩積土		崩積土		崩積土
	緑色岩		S1 泥質岩優勢層		W1 強風化岩(粘土状・土砂状)
	砂岩		Gs 緑色岩優勢層		W2 風化破砕岩(細片~破片状)
	粘板岩		Ss 砂岩		W3 弱風化岩
	チャート		Ch チャート		Rf 新鮮岩(棒状)
	石灰岩		Ls 石灰岩		- - - 風化境界
	すべり面		An 安山岩		W1 強風化岩(W1層) (柱状図に表示)
	地下水位		- - - 地層境界		

観測孔名 自動観測計器
観測孔名 手動観測計器

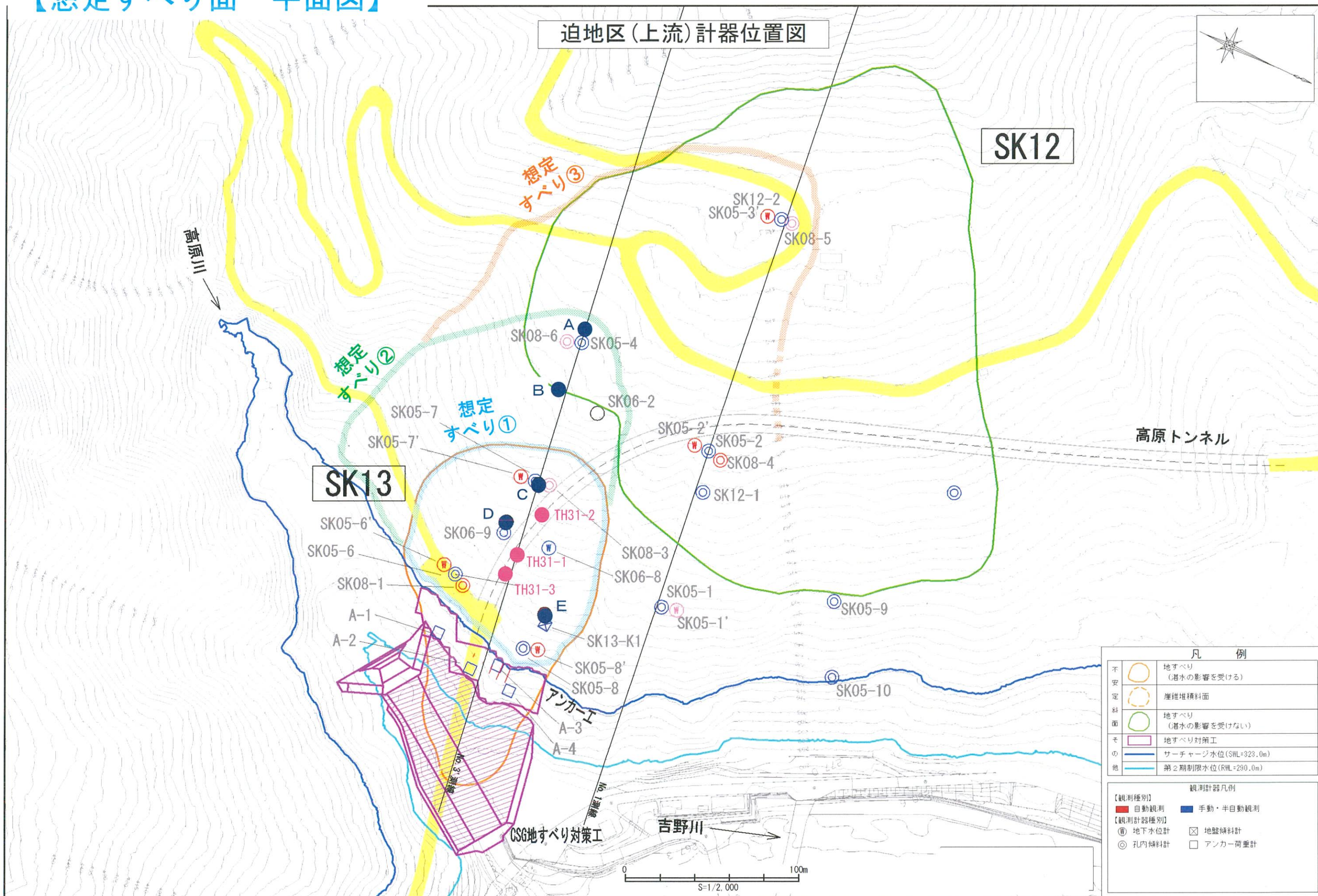
【凡例】

- ボーリング調査(国)5ヶ所
- ボーリング調査(県)3ヶ所
-



1-1 想定すべり面

【想定すべり面 平面図】



迫地区(上流)計器位置図

SK12

SK13

凡 例	
不安定斜面	地すべり (潜水の影響を受ける)
	崖堆積斜面
その他	地すべり (潜水の影響を受けない)
	地すべり対策工
	サーチャージ水位 (SWL=323.0m)
	第2期制限水位 (RWL=290.0m)

観測計器凡例		
【観測種別】	自動観測	手動・半自動観測
【観測計器種別】	地下水位計	地盤傾斜計
	孔内傾斜計	アンカー荷重計